

# 地元スポーツを多様に楽しみ、支えていくためのプロジェクト

スポーツには「する」「見る」以外に、「支える」=スポーツボランティア(以下、スポーツボラ)という楽しみ方もあります。スポーツイベントの成否にスポーツボラの活動が大きく影響を与えるようになりつつあり、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック(以下、2020東京オリ・パラ)でもスポーツボラへの期待が高まっています。2020東京オリ・パラでは、宮城県内でもサッカー競技の開催が予定されています。「仙台を日本で一番スポーツボランティアが盛んなまちにしよう」と、NPOと大学が協働で取り組んでいる事例を紹介します。

## 仙台スポーツボランティアプロジェクト

スポーツで地域を元気にしたい

ボランティアをもっと身近なものにしたい

スポーツには「支える人=ボランティア」も大切



[ 市民スポーツボランティアSV2004 ]

[ NPO法人ボランティアインフォ ]

[ 仙台大学 ]

代表理事

いずみたかずお  
泉田和雄 さん

副代表理事

むらまつじゆんじ  
村松淳司 さん

代表理事

きたむらたかゆき  
北村孝之 さん

副学長 教授

なかの たかし  
仲野隆士 さん

教授

こいけかずゆき  
小池和幸 さん

## スポーツボランティアを知る・学ぶ機会

仙台は、野球・サッカー・バスケットボールなど複数のプロスポーツチームのホームタウンです。ハーフマラソンや駅伝などのスポーツイベントも多く、スポーツボラが活躍しています。しかし、スポーツボラに興味がある人からは「ボランティアに関する情報が少ない」「どこを探せばいいのかわからない」という声があったり、募集する側は「参加者の偏りがある」「リーダーやコーディネーターが不足している」と悩んでいたり、様々な課題もあります。

2020東京オリ・パラに向け、スポーツボラをする人を増やしつつ、同時に質も高める必要があると考え、市民スポーツボランティアSV2004(以下、SV2004)とNPO法人ボランティアインフォ(以下、ボランティアインフォ)、仙台大学は協働で「仙台スポーツボランティアプロジェクト(以下、プロジェクト)」を結成。2020東京オリ・パラのその後を見据え、「スポーツボラをブームではなく、文化として根付かせたい」という目標を持っています。

## 協力し支え合うプロジェクト

SV2004は、2004年の設立以降、仙台のスポーツイベントを支え、スポーツボラを牽引してきた団体です。地域を越えて「スポーツがまちに

何をできるか」市民が考える場づくりも行ってきました。

ボランティアインフォは、2011年の東日本大震災をきっかけに活動を開始。現在は災害復興に限らず、ボランティアを求める人として人をつなげ、日本におけるボランティア人口の増加と、ボランティアをもっと身近にするために活動しています。

仙台大学は、東北・北海道で唯一の体育学部体育学科を有する四年制大学として1967年に開学しました。「Sports For All」を教育理念に掲げ、年齢性別や障がいの有無を問わず、すべての人を対象としてスポーツを科学的に探究しています。

スポーツボラの若年層育成を考えていたSV2004は、ボランティアインフォとともに2016年から中高生のスポーツボラ研修会を行ってきました。

今回プロジェクトで行う研修会では、スポーツボラの知識やノウハウを明文化しさらなる成長を促したいとの思いがありました。そのためには、講習やカリキュラム作成に長けた仙台大学の協力が必要でした。ボランティアインフォがサイト運営や情報発信、事務局を担当し、SV2004がスポーツボラのコーディネートをするなど、それぞれの強みを生かしプロジェクトの体制が整いました。



連絡先 仙台スポーツボランティアプロジェクト 事務局 (NPO 法人ボランティアインフォ)  
〒980-0014 仙台市青葉区本町1-12-12 GMビルディング2階  
Mail info@volunteerinfo.jp HP http://sendai.sportsvolunteer.info/

## 地元スポーツを盛り上げるために

2017年11月11日、プロジェクトは仙台市内にて「スポーツボランティア研修会初級講座」を開催。スポーツボラがより活動しやすい環境づくりや活動ノウハウの体系化を通して、仙台・宮城地域のスポーツボラを盛り上げる狙いがあります。これからスポーツボラに参加したい人、スポーツボラの経験はあるが基礎知識やノウハウを改めて学びたい人など、約100人が参加しました。内容は、NPO法人日本スポーツボランティアネットワーク(東京)が開発した研修プログラムをベースに、仙台におけるスポーツボラの歴史などを加えた特別プログラム。受講後はスポーツボラとして、仙台はもちろん、全国で活動できる自信を持つことができます。

「スポーツボラ参加の入り口となる情報発信をもっと充実させたい」とボランティアインフォの北村さん。プロジェクトのサイトでは、ボランティア募集情報以外に、初めてスポーツボラに参加する人向けのhow toコンテンツや、ボランティア活動風景のレポートなどを発信していきます。

初級講座は、2018年2月25日に2回目の開催が決定。また、初級だけでなくリーダー講習などレベルアップした内容も3月の開催へ向け準備中です。将来的には仙台・宮城発の先進的なボランティアモデルとして全国にも広めていくことも目指しています。(取材・文 菅野祥子)



スポーツを「これから始めたい!」「もっと楽しみたい!」という方にオススメ~仙台スポーツ情報ナビ~

「仙台スポーツ情報ナビ」は、体育館など各スポーツ施設のスケジュールやイベント情報、各種球技やダンスサークルなど仙台のスポーツ情報が満載のWEBサイトです。スポーツ活動を支援する制度も紹介されています。自分に合ったプログラムを探して、充実したスポーツライフを送りましょう。

HP <http://www.spf-sendai.jp/index.html>

問い合わせ:公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団  
TEL 022-215-3201 FAX 022-215-3575



## 明るい家庭をつくり、明るい社会を目指して

市民ライター 斉藤利直

明るい社会づくり運動仙台地区推進協議会(以下、仙台明社)では、「信頼と思いやりて結ばれ、安心して心豊かに暮らせる社会を作る運動」を展開しています。温かい家族づくりや親子の関係を学ぶ家庭教育事業をはじめ、東日本大震災の被災地におけるコミュニティ支援や盲導犬育成のための募金活動などの運動を行います。事務所を仙台市に置きながら、宮城県内全域を対象に、会員600人の中でニーズに合わせた活動をしています。

特に力を入れるのは、家庭教育講演会の開催です。会員の細川能孝さんは「どんな社会活動をする人も、まずは生活の根底である家族・家庭との良好な関係が必要だから」と仙台明社が大切にしている家族の姿を語ります。細川さんは、仙台明社の役員である両親に影響を受けて活動をスタート。現在は地元の大崎市を中心に、子育て支援などの講演会の運営や参加の呼びかけを行います。



▲「来年にはNPO法人化を目指したい」と目標を語る会員

事務局の本多孝次さんは、「教育や子どもの貧困問題に取り組む団体と連携することで、よりよいまちづくりを目指します」と地域への結びつきに意欲を示します。

社会をよくする活動の原動力になるのは、明るい家庭。家族や家庭に思いを寄せることが、社会活動をする人の手助けになるのだと気付かされました。

■連絡先  
明るい社会づくり運動仙台地区推進協議会  
TEL 022-213-3302  
FAX 022-213-6077



自分と世界がハッピーになる! 成功する海外ボランティア21のケース

編集:「地球の歩き方」編集部(海外ボランティアデスク) 発行:株式会社ダイヤモンド・ビッグ社

発展途上国は貧困や環境破壊など多くの問題を抱えており、その改善と解決には他国からの援助が必要です。本書は、現地で支援を行うボランティアの基本を紹介し、さらに21の具体的なボランティアの事例を挙げて、活動の実態や参加の方法、注意点などについて、経験のない人にもわかりやすく解説しています。これから国際協力を始めてみたい人が読んでおきたい一冊です。



「Piccoliせんだい」2017ボランティア募集

NPOピコセンサポーターでは、小学生を対象に社会体験ができるイベントの企画、運営を行っています。当日のイベントをお手伝いするボランティアを募集しています。期間中1日の参加も可。実施日:2月10日(土)~2月12日(月) 会場:仙台市宮城野区中央市民センター 対象:こどもが好きな方。年齢不問。申込み締切:2018年1月31日(水) 申込み・問い合わせ:NPOピコセンサポーター事務局 TEL 080-2823-0872 FAX 022-257-4463 Mail piccolisendai@gmail.com HP <http://picosenboshu.wixsite.com/mysite>





インフォメーション

申込み・問い合わせ：仙台市市民活動サポートセンター  
TEL 022-212-3010 / FAX 022-268-4042 Mail sendai@sapo-sen.jp

マチノワWEEK vol.2 もっとつながる、もっとひろがる、まちづくりの輪

期 間：2018年2月21日(水)～27日(火)  
会 場：仙台市市民活動サポートセンター  
7日間にわたり、市民活動サポートセンターで生まれてきた市民活動や協働の事例を紹介し、市民活動団体によるブース出展や、多様な主体が仙台のまちづくりについて考え、意見を交わすトークイベントなどを開催します。実践者や支援機関と交流を深めることで、活動の充実や、組織の垣根を越えたネットワークづくりができます。ぜひ、ご参加ください。詳しくは、ホームページやチラシなどでお知らせします。



初めての市民活動を応援します はじめてのミニイベント

日 時：2018年1月27日(土)  
「はじめてのミニイベント 運営・人材育成編」 10:00～11:00  
「はじめてのミニイベント 会計編」 11:10～12:10  
内 容：市民活動初心者の方を対象に、ミニイベント(※)を円滑に運営するために必要な事務局の役割、スタッフの集め方や育成、イベント準備から当日の会計について、基礎から学べる講座を開催します。どちらか一方だけでも、両方でも受講可能です。  
※ミニイベント：講演会や研修会、交流会、活動体験会など、外部の人の参加も想定される定員数名～100名、予算10万円未満の企画。  
会 場：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5  
定 員：各15名(先着順)  
対 象：これから活動を始めようと考えている方  
新たなイベントを計画中の市民活動団体・NPO法人  
人が定着せず人材育成の必要性が迫られている団体  
会計担当がまわってきて困っている方  
新規設立団体・NPO法人など  
参加費：無料



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは  
様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。

ご相談ください  
ボランティア活動をしたい/団体を立ち上げたい/組織運営の悩みを解決したい/他の団体や他のセクターと連携したい/自分のスキルを地域や社会に役立てたい...

今月の休館日	1月10日(水)、24日(水)
開館時間	月曜日～土曜日 9:00-22:00 日曜日・祝日 9:00-18:00
休館日	毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3  
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042  
地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ/地下鉄東西線「青葉通一番町駅」北1番出口から徒歩6分  
[HP]http://www.sapo-sen.jp [Blog]http://blog.canpan.info/fukkou/ [Twitter]@sensapo

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。[指定管理期間2015年4月1日～2020年3月31日]

市民ライターや学生記者が、仙台の市民活動団体やワクワクビトを取材しています！

- ▶ 市民ライター  
[http://blog.canpan.info/fukkou/category\\_23/](http://blog.canpan.info/fukkou/category_23/)
- ▶ 情報ボランティア@仙台  
<https://ja-jp.facebook.com/jyoho.volunteer.sendai>

▶「ぱれっと」バックナンバーはホームページからダウンロードできます。  
▶ぱれっとに関するご意見をお寄せください。

[ぱれっと読者アンケート] サポセンホームページからアクセス  
いただくか、携帯電話等で2次元バーコードを読み取ってご利用ください。



発行 仙台市市民活動サポートセンター  
発行日 2018年1月4日  
編集 特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター  
デザイン PEACE Inc.  
編集人 太田貴 菅野祥子 松村翔子 宮崎真央 小野真璃子  
発行部数 3000部  
配布場所 市内公共施設や行政窓口、市内一部店舗、市内外の支援施設

# ぱれっと 1

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと 2018 No.221

「ぱれっと」には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

今月の  
ワクワク  
ビト  
ぼたもち堂  
さかべみとむ  
坂部 認 さん(28)

遊びの力  
次代担う子に伝えたい

坂部さんは、ジャグリングパフォーマーです。月に2、3回児童館や幼稚園に出向き、ジャグリングワークショップも実施しています。1つのボールを頭にさせたり、挟んだりする踊るジャグリングが特徴です。ボールを投げるだけでなく、アジアの舞踏を混ぜてボールを扱う独特のワークショップは、誰もが気軽に取り組み、運動が苦手な子もすぐにできるようになります。普段は運動に消極的な子も、簡単にできるジャグリングには大喜び。参加した子ども達の満足気な笑顔と輝く瞳に出会えるのがやがいです。宮城教育大学卒業後、それぞれの特技を活かし、学校教育とは別の場所で子どもの教育に関わる人たちに影響を受け、2013年2月にぼたもち堂として活動をはじめました。  
「人生は、多くのことに挑戦したくさんのことを学ぶことでより豊かになっていく」と坂部さん。子どもの可能性は無限であり、諦めさえしなければきっと夢は叶う。未来へ向かって走る子ども達へ伝え続けます。

取材・文 市民ライター 櫻井 光雄



特集

地元スポーツを多様に楽しみ、  
支えていくためのプロジェクト

ぼたもち堂

TEL 080-6054-7563 Mail ninjinnotabi@gmail.com  
HP <https://botamochidou.tumblr.com>

ジャグリングとアジアの舞踏・芸能を融合させた、独自のパフォーマンスを得意とする大道芸人。ボールジャグリングをはじめ、2本の棒でコマを操るディアボロ、タイの剣舞をベースにしたオリジナル舞踏クラブ、椅子や机をあとに乗せるバランス芸などの演目があります。通常のジャグリングとは一風変わったパフォーマンスが特徴です。仙台を中心に各種イベント、教育施設で活動中。出演、ワークショップの依頼はHPから。